

中央

1/21

区のおしらせ

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

タイムドーム明石企画展

中央区を読むー館蔵古文書・記録からみるまちのかおー

ー郷土天文館所蔵品よりー

歴史を探究する上で重要な手がかりとなるものに古文書があります。その種類はさまざまで、手紙や契約書、日記、帳簿、また商売の記録や土地の証文、家法など、重要な事項が記されているものも多く、それぞれの家や店によって大切に保存されてきました。

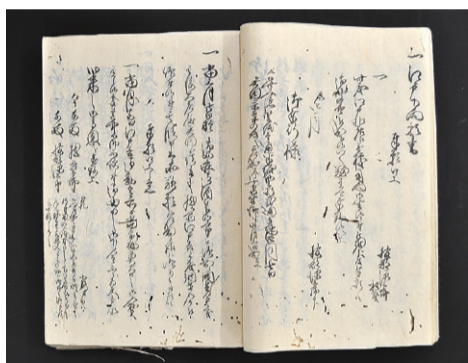
中央区は関東大震災や太平洋戦争における空襲により、多くの古文書が失われましたが、災害をくぐり抜け、今日まで伝えられてきたものも少なくありません。今回の企画展では、中央区民俗文化財に登録されているものも含め、郷土天文館が保有する古文書とその関連資料を紹介します。

日本橋地域の商家の古文書、月島地域の渡船に関する記録など、中央区ならではの特色

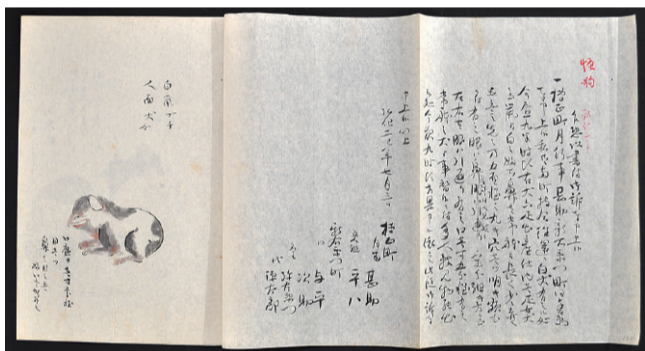


▶「備島共有渡船出金帳」備島渡船関係文書 明治三十年(一八九七)

▶「五番 公用願其外記録」服部家文書 慶応四年(一八六八)



▶「書付(怪狗の記録)原胤昭関係文書 明治期(昭和期)



がうかがえます。この展示で、古文書に親しんでいただくとともに、昔の中央区のくらしを想像してみてください。

日時
1月26日(土) 2月24日(日)
・火・金曜日
午前10時～午後7時
・土・日曜日、祝日
午前10時～午後5時
◎閉館30分前に要入館
休館日
毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
会場
タイムドーム明石特別展示室



▲昨年度の写真展 (月島区民センター1階コミュニティフロア)

中央区とオーストラリア・サザランド市は、平成三年の姉妹都市提携以来、中学生の海外体験学習などのさまざまな交流行事を通じて、双方の歴史と文化について理解を深め、友好を築いてきました。

中央区文化・国際交流振興協会ではサザランド市との交流を深めるため、写真を相互に交換し、写真展を毎年開催しています。この機会にぜひサザランド市の風景、行事などをご覧ください。

日程・会場
・2月3日(日)～8日(金) 区役所一階ロビー

ホームページアドレス
<http://www.chuo-ci.jp/sya-shinten/>
☎(3297)0251

費用
無料

解説
中央区文化財調査指導員 金子千秋

日時
2月2日(土)・16日(土) 午後1時～2時

費用
無料

会場
タイムドーム明石特別展示室

解説
中央区文化財調査指導員 金子千秋

費用
無料

会場
タイムドーム明石特別展示室

「姉妹都市親善写真展」
オーストラリア・サザランド市

・2月9日(土)～15日(金) 日本橋区民センター一階ロビー
・2月16日(土)～22日(金) 月島区民センター一階コミュニティフロア

◎昨年の姉妹都市親善写真展の内容は中央区文化・国際交流振興協会ホームページをご覧ください。

※問合せ先
中央区文化・国際交流振興協会
☎(3297)0251
<http://www.chuo-ci.jp/sya-shinten/>

毎年、輝かしい新春とともにやってくる箱根駅伝。今年も八十九回目が正月二・三日、さまざまな感動のドラマを演じながら行われ、予選会を経て出場した日体大が三十年ぶり十度目の総合優勝を飾りました。

「箱根」に限らず、駅伝はいまや日本独特のスポーツになっていきます。個人競技のマラソンとちがいで、「箱根」でいえば二日制で往路・復路合わせて十区の間ごとランナーが入り代わり、走行場所も異なるとあって応援する側も目を離せません。走るということにはあらゆるスポーツの基本中の基本。そこからまさに「1秒の重み」が競われ、悲喜こももものドラマが生まれるのですからファンが増えるのも当然でしょう。

その「箱根」が平成十一年の第七十五回から一月三日の復路を名橋「日本橋」を通り越すようになり、区民にとって親しみが一層増しました。この年、日本橋が架橋八十八周年を迎えるため、その記念行事として地元が強く要望し、主催者側が受け入れて実現しました。

今年も日本橋周辺だけで十二万人もの観衆が沿道から熱い声援で歓迎しました。

中央区長 和田美英 (やだよしひで)

こんには 区長です

情報コーナー(3頁からのつづき)

催し物

図書館利用者懇談会

皆さんのご意見やご要望を伺い、より身近な図書館として親しんでいただくために利用者懇談会を開催します。

京橋図書館

日 2月23日(土)
午後2時～3時30分

場 京橋図書館鑑賞室

日本橋図書館

日 2月2日(土)
午後2時～3時30分

場 日本橋図書館6階ホール

月島図書館

日 2月16日(土)
午後2時～3時30分

場 月島社会教育会館5階第1洋室
◎直接会場にお越しください。

問 京橋図書館

☎(3543)9025

日本橋図書館

☎(3669)6207

月島図書館

☎(3532)4391

第17回中央区雪まつりの開催 ～中央区に雪がやってくる 元気な子どもたち集まれ～

寒さに負けず、外に出て元気に遊ぼう。ソリやミニスキーで思い切り遊び、温かい「いも煮汁」などでひと休み。家族や友だちと一緒に楽しい一日を過ごそう。

雪は友好都市の山形県東根市より届けられます。

日 2月9日(土)
午前9時～午後4時

2月10日(日)
午前9時～午後3時

場 あかつき公園

◎詳しい内容は「区のおしらせ 中央」2月1日号に掲載予定です。

問 地域振興課地域事業係

☎(3546)5339

天体観望会「冬の星雲・星団を見よう！」

日 2月16日(土)
午後6時～7時30分

場 プラネタリウムホール、タイムドーム明石屋上

対 区内在住・在勤者(中学生以下は保護者の同伴が必要)

内 大型の天体望遠鏡や双眼鏡を使って、すばる(プレアデス星団)・オリオン大星雲などを、専門の解説員の解説を交えながら観察します。観察の前にはプラネタリウムで当日の星空や天体の解説を行います。当日、天候により観察できない場合は、プラネタリウムでの解説のみとなります。

定 50名(申込み多数の場合は抽選)

費 無料

申 2月1日(必着)までに往復はがきに①～⑤(3頁記入例参照)、⑥参加者全員の氏名・年齢を記入して申込む(電子申請も可)。

問 〒104-0044

中央区明石町12-1

郷土天文館「タイムドーム明石」
☎(3546)5537



その他

手話通訳者が窓口でお手伝いします

聴覚障害のある方・音声または言語機能障害のある方が、区役所に来たときに手話を用いて円滑なコミュニケーションが図れるよう、手話通訳者が各種相談や手続きのお手伝いをしています。

[利用日時] 毎週金曜日(午前10時～正午・午後1時～3時)

[利用方法] 区役所1階受付(まごころステーション)にお申し出ください。

問 障害者福祉課障害者福祉係

☎(3546)5697

FAX(3544)0505

日本橋地域 お魚屋さん特売日

2月7日(木)



問 区民生活課消費生活係
☎(3546)5332

中央区社会福祉協議会ボランティア・区民活動センターからのお知らせ ～広げようボランティアの輪～

本センターでは、ボランティア活動の普及啓発を図り、たくさんの方々に参加していただくために次の事業を行っています。

- ・ボランティアに関する相談や情報提供、ボランティア活動のコーディネート
- ・書籍・資器材の貸し出し
- ・ボランティア情報紙「月刊キャッチボール」の発行
- ・地域情報発信サイト「中央社協の

- まちひとサイト」の運営
- ・中央区健康福祉まつりの開催
- ・ボランティア入門福祉講座、夏休み福祉・ボランティア体験「イナっこ教室」、ボランティア出前体験講座の開催
- ・ボランティアのネットワーク化に向けた連絡会や交流会の開催、ちゅうおうボラネット(中央区登録ボランティア連絡協議会)との連携
- ・企業などの社会貢献活動の支援、中央ぷらねっと(中央区社会貢献企業連絡会)との協力
- ・登録ボランティア団体、ボランティア活動普及推進校への活動費助成
- ・ハンディキャブ(リフト・スロープ付き自動車)貸出
- ・使用済み切手・使用済みプリペイドカードの収集
- ・手話通訳者・要約筆記者派遣事業
- ・視覚障害者および知的障害者外出介護事業
- ・災害ボランティア受入事業
- ・被災地でのボランティア活動を行う区内在住・在勤者に対するボランティア保険料助成

あなたの活動を紹介します

「中央社協のまちひとサイト」では区内のボランティア・NPO活動や地域行事、イベントなどの地域活動情報を取材して、写真や動画でブログを使って紹介しています。

活動の紹介を希望する方はお問合せください。

[まちひとサイトホームページアドレス]

<http://machihito.blog131.fc2.com/>

ボランティア出前体験講座を開催しています

本センターではボランティア活動や地域福祉活動に関心のある区内のグループ、学校、企業などに出向きボランティア出前体験講座を開催しています。

車いす・点字・手話・アイマスク・シニア体験など実際に体験をしながらボランティアや福祉について学ぶメニューや、福祉やボランティアの基本的な内容を学ぶ講座などを用意しています。

講座の開催を希望する方はお問合せください。

- 時受け付けています。
- ◎4月から活動希望の方は、3月29日(金)までに提出してください。
- 問 区役所6階指導室で配布している所定の履歴書兼登録申請書に必要事項を記入の上、提出する。
- ◎登録申請書は区のホームページか

このほか、区内施設や各種イベントで行うボランティア、各ボランティア団体の活動への参加、各種団体等が行う講座の紹介などボランティアに関する情報を提供しています。お気軽にご連絡ください。

問 中央区社会福祉協議会ボランティア・区民活動センター

☎(3206)0560

✉ vc@shakyo-chuo-city.jp

小学校の拠点回収が一部中止になります

小学校の行事開催のため、資源の拠点回収を一部中止します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

[中止する小学校と日程]

・明石小学校 2月16日(土)

問 中央清掃事務所清掃事業係

☎(3562)1523

区道に愛称名が設定されました

区では、生活空間として重要な役割を果たしている道路を、わかりやすく親しまれる道路とするため、区道に愛称名を付ける事業を実施しています。今回新たに二路線の愛称名が決まりました(別図のとおり)。

設定名称等

[京橋大根河岸通り(きょうばしだいこんがしどおり)]

・起点 八重洲二丁目10番先
八重洲二丁目11番先

・終点 京橋三丁目3番先
京橋三丁目4番先

[京橋竹河岸通り(きょうばしたけがしどおり)]

・起点 京橋三丁目6番先
京橋三丁目5番先

・終点 京橋三丁目9番先
京橋三丁目10番先

問 道路課工務係

☎(3546)5424

別図



らもダウンロードできます。

[提出(問合せ)先]

〒104-8404

中央区築地1-1-1

指導室事業係

☎(3546)6757

平成25年度小・中学校指導サポーターの募集

平成25年度に区立小・中学校で、さまざまな支援を行う指導サポーターを募集します(別表参照)。

[募集期限] 履歴書兼登録申請書は随

別表 募集する指導サポーター

業種	内容	応募要件	謝礼	活動期間
学習指導補助員	1日6時間以内、小・中学校で児童・生徒の学習の個別指導支援や、学級運営の補助を行う。		1時間1,300円(交通費なし)	4月～平成26年3月(短期間の場合あり)
セカンドスクール指導補助員	小学校4年生が校外学習施設「柏学園」で実施する2泊3日の自然体験などについて、教員の指導補助を行う。	・教員を目指している方 ・教員免許を有する方 ・その他教育委員会の認める方	1回(2泊3日)31,200円(食事提供あり)	各学校ともおおむね6月・9月・11月 1回2泊3日
理科支援員	1日3～5時間の範囲内で、小学校5・6年の理科授業での準備、後片付け、教員の指導補助を行う。		1時間1,300円(交通費なし)	4月～平成26年3月 週2日～3日程度
プール教室指導員	夏季休業中に小・中学校で行うプール教室において、児童・生徒の指導および危険防止などの活動を行う。	・20歳以上で水泳指導に適する方	おおむね4～5時間 1日6,500円(交通費なし)	夏季休業期間のうち小学校15日以内 中学校10日以内
学校図書館指導員	1日あたり5時間以内で、学校図書館の環境整備・貸し出しおよび読み聞かせなどの読書指導の補助を行う。	・司書(補)資格または司書教諭免許を有する方 ・同等の知識・能力を持つ方 ・その他教育委員会の認める方	1時間1,300円(交通費なし)	4月～平成26年3月 週2日～3日程度
スクールボランティア	国語、算数、数学、英語などの基礎的な学習の指導補助や、パソコンを活用した自習学習において、パソコンの操作指導や学習内容の指導を行う。	・教員を目指している方 ・教員免許を有する方 ・その他教育委員会の認める方		4月～平成26年3月

◎個人の活動期間については、各学校により異なります。

凡例 日時 会場 対象 内容 定員 費用 申込方法 問合せ(申込)先 HP ホームページアドレス Eメールアドレス

凡例 日 時 場 会 場 対 象 内 容 定 員 費 用 申 込 方 法 問 合 せ (申 込) 先 HP ホーム ページ アドレス Eメール アドレス

情報コーナー

遊ぶ 知る

学ぶ

記入例(はがき・ファクス)

1人1枚 限り

往復はがきの場合は 返信用の宛名に〒・住所・氏名を記入

①講座名など
②氏名・ふりがな
③〒・住所*
④電話番号
⑤年齢
⑥その他必要事項

*在勤の方は会社名・所在地・電話番号、在学の方は学校名・所在地・電話番号も記入

◎**固**に〒・住所が記載されていない場合の宛先は 〒104-8404 築地1-1-1 申込先へ

◎「電子申請も可」と記載されているものは 区のホームページの電子申請から申込みも可能

施設

5月分ヴィラ本栖・伊豆高原荘申込みのご案内

施設名	ヴィラ本栖	伊豆高原荘
利用月	5月分	
在住者優先申込	専用はがき(区内在住者優先利用申込書) 2月14日(木) 各施設必着 公共施設予約システム 2月1日(金)~14日(木) 午後11時 抽選日 2月16日(土)	
空室申込(どなたでも) 申込みます	公共施設予約システムや現地への電話による申込みは、2月20日(水)から受け付けます。	
ヴィラ本栖直通バス 伊豆高原荘送迎バス	※申込(問合せ)先 「ヴィラ本栖」フロント ☎0120-162312 (東京23区内からのフリーダイヤル) ☎0555(87)2711	※申込(問合せ)先 伊豆高原荘フロント ☎0120-151307 (東京23区内からのフリーダイヤル) ☎0557(53)1163

◎公共施設予約システムは、区のホームページや、区役所、日本橋・月島区民センターに設置してある利用者端末をご利用ください。

◎伊豆高原荘をご利用する際に禁煙室を希望される方、高齢者や身体に障害のある方で2階の部屋を希望される方は、施設に直接ご連絡ください。

◎区内4カ所からヴィラ本栖まで乗り換えなしで行ける便利な直通バスを運行しています。

◎伊豆高原荘では、伊豆高原駅から施設までどなたでもご利用できる送迎バスを運行しています。

◎詳しくは、区役所・区民センター・区民館などに設置しているパンフレットをご覧ください。また、各施設にお問合せください。

問 地域振興課区民施設係 ☎(3546)5623

講座

経営セミナー

日 2月26日(火)
午後2時~4時

場 区役所8階大会議室

対 区内中小企業経営者および従業員
[テーマ]省エネルギーで経費節減! すぐに使える中小企業の省エネ対策

[講師]東京都地球温暖化防止活動推進センター技術専門員 村瀬光一

定 100名(先着順)

費 無料

申 前日までに区役所7階商工観光課で配布する申込書に必要事項を記入してファクスで申込む。

◎申込書は区のホームページからダウンロードすることもできます。

問 商工観光課中小企業振興係
☎(3546)5487
FAX(3546)2097

異業種交流会

日 2月26日(火)
午後4時30分~6時30分

場 区役所8階第2会議室

対 どなたでも参加できます。

内 参加企業の特徴を確認できる紹介により他社の業務について情報を得るとともに、自社の強みと他社の強みを合致させる考え方を学びます。

[コーディネーター]
プロアクティブ(株) 伊藤由規

定 15名(1社1名)

費 無料

申 2月19日(必着)までに区役所7階商工観光課で配布する申込書に記入して持参または郵送、ファクスで申込む。

◎申込書は区のホームページからダウンロードすることもできます。

問 〒104-8404
中央区築地1-1-1
商工観光課中小企業振興係
☎(3546)5487
FAX(3546)2097

子育てクッキング教室

日 2月20日(水)
午後1時30分~3時30分

場 日本橋保健センター5階

対 2歳6カ月~4歳の幼児と保護者

内 ・保護者
幼児向き料理とは(料理紹介と話)
・幼児
大型絵本と紙芝居(食育遊び)
・親子一緒
みんなで楽しく試食

定 15組(申込多数の場合は抽選)

費 無料

申 1月21日(月)から2月8日(金)までに電話で申込む(電子申請も可)。

問 日本橋保健センター健康係
☎(3661)5071

スポーツ指導者養成セミナー「フォロー研修」

日 2月5日(火)
午後6時30分~8時30分

場 区役所8階大会議室

対 スポーツ指導に関心のある方
[テーマ]目標達成へのプロセス

[講師]富士通株式会社 陸上競技部 監督 福嶋 正

定 100名(先着順)

費 無料

申 当日午後6時から直接会場で申込む。

問 スポーツ課スポーツ事業係
☎(3546)5531

区民公開講座「乳幼児の予防接種について」

乳幼児の予防接種について一緒に勉強する講演会を開催します。

日 2月2日(土)

午後2時30分~4時30分

場 月島区民センター1階会議室

対 乳幼児の予防接種について関心のある方

◎特に乳幼児のお子さんをお持ちの方、これからお子さんが生まれる予定の方はぜひご参加ください。

[講師]東京都医師会公衆衛生委員会委員長、和田小児科医院院長 和田紀之

定 100名(先着順)

費 無料

◎直接会場にお越しください。

問 中央区医師会
☎(3531)1048

消費生活講座

詐欺の手口や契約トラブルは、消費者を取り巻く経済社会環境などに応じて変化しています。被害にあわないために、最新の悪質商法の事例をご紹介します。また、万が一のときに備え、家族などに伝えたいこと

男女共同参画労働セミナー「職場におけるいじめ・ハラスメント対策セミナー」

日頃、ハラスメントなどの相談にに応じている臨床心理士を招き、どのようにハラスメントに対処し、トラブルを防止すべきかを個人、組織の両面からメンタルヘルス対策もふまえながら伺います。

また、職場のハラスメントによる自殺行政訴訟など、労災訴訟に数多く携わる弁護士を講師に招き、職場のいじめ・ハラスメントをめぐる判例・事例から、そのトラブルの対処法について学んでいきます。

なお、本セミナーは東京都労働相談情報センターと共催で実施します。

別表

日 程	内 容	講 師
2月7日(木)	メンタルヘルス対策をふまえたハラスメント対応のポイントとトラブル防止策	臨床心理士、社会保険労務士 涌井美和子
2月14日(木)	職場のいじめ・ハラスメントの増加をめぐって~急がれる労働環境の整備~	弁護士 山下敏雅

を書き留めた「エンディングノート」の作成方法をご紹介します。これからの生活を安心して豊かに暮らすきっかけにしませんか。

日 2月27日(水)
午後2時~4時

場 築地社会教育会館4階視聴覚室

対 区内在住・在職・在学者

内 ・「悪質商法の被害防止」~「私は絶対に大丈夫よ」という方へ~
・終活日和~大切な人へ伝えるための「エンディングノート」の作成~

[講師]中央区消費生活センター相談員 鈴木春代

定 30名(先着順)

申 1月21日(月)から電話で申込む(電子申請も可)。

◎エンディングノート講座を初めて受講する方を優先します。

◎2歳6カ月以上の未就学児の保育を希望する方は、2月8日(金)までに申込んでください。

問 中央区消費生活センター
☎(3546)5332

日・内[講師]別表のとおり

[時間]午後6時30分~8時30分

場 女性センター「ブーケ21」

対 区内在住・在勤の方(優先)、その他関心のある方

定 60名(先着順)

費 無料

申 それぞれ前日までに電話またはファクスに①~⑤(3頁記入例参照)、⑥希望受講日を記入して、または「TOKYOはたらくネット」ホームページから申込む。

問 女性センター「ブーケ21」内 総務課女性施策推進係
☎(5543)0651
FAX(5543)0652

HP「TOKYOはたらくネット」
http://www.hataraku.metro.tokyo.jp

離乳食講習会

日 時	2月7日(木)	2月13日(水)	2月14日(木)
	午後1時30分~3時		
会 場	中央区保健所 2階 栄養室	日本橋保健センター 5階 料理講習室	
対 象	5~6カ月ごろの乳児の保護者	1歳~1歳3カ月ごろの幼児の保護者	9~11カ月ごろの乳児の保護者
内 容	1回食の進め方	離乳の完了に向けて	3回食の進め方
	・離乳食の作り方の紹介 ・試食(保護者のみ)		
定 員	各20名(先着順)		
費 用	無 料		
申込方法	1月22日(火)から電話で申込む。		
申 込 (問合せ) 先	中央区保健所健康推進課 ☎(3541)4260	日本橋保健センター健康係 ☎(3661)5071	

トピックス



築地市場初市 (初せり)

1月5日早朝、築地市場で新春恒例の初市が行われました。国内外で水揚げされたマグロがずらりと並べられた生鮮マグロの卸売場では、卸売業者と仲卸業者の代表者があいさつし、手締めで商売繁盛を祈願した後、鐘の合図で初せりが始まりました。

「区政を話し合う会」から

昨年十一月五日に、区役所で「区政を話し合う会」を開催しました。区内で活動している各種団体の方たちや一般公募の方と区長、区および区内官公署の幹部職員が活発に意見交換をしました。

当日のご意見の中からいくつかを紹介いたします。

意見1 賑わうまちづくりについて

ここ四、五年、景気低迷のため、周囲のビルには多くの空室が発生しているとのこと。本来、景気回復策は国に望むことかもしれませんが、賑わいのあるまちづくりの環境として、区としても何かできないでしょうか。

回答1 区民部長

景気回復は本来、国を挙げ

て取り組むべき課題だと思いますが、区でも本年度予算の三十一%を景気回復の関連事業に投入しています。

このほか、起業意欲のある方を対象とした起業家塾の開催、ベンチャー企業の採用促進のための情報の発信、ホームページ作成技能の習得支援や開設費用の支援を行うなど、区内への新規事業所の誘致に努めています。さらに、販路拡大のための展示会への出展費用の助成を行っています。

また、区内の観光振興にも取り組み、各種イベントを行うなど、賑わいのあるまちづくりを進めようとしています。区では今後も新たな事業展開の促進に積極的に取り組んでいきます。

意見2 日比谷線築地駅へのエレベーターなどの設置について

日比谷線築地駅の本願寺と京橋築地小学校方面には、エレベーターが設置されていますが、聖路加国際病院や福祉センター方面には、急な細い階段があるだけです。この階段だけでは、聖路加国際病院や福祉センターに通う方々にとって辛いものです。区から東京メトロにエレベーターなどの設置を働きかけていただけないでしょうか。

回答2 吉田副区長

ご要望の場所の地下には東京電力の変電所があるため、エレベーターなどを設置するための掘削はできない状況です。

そこで、区は、変電所の移設を東京電力と以前から協議していましたが、しかし、原発事故の発生により、現在、協議は一時中断しています。区としても、ご要望の場所にエレベーターなどを設置することは悲願と考えていますので、今後も実現に向けて一生懸命頑張っていきたいと思っております。

意見3 重度身体障害児(者)の特別支援学校卒業後の通所施設利用について

特別支援学校を卒業した重度身体

障害を持つ子どもたちは、現在、福祉センターに通所していますが、福祉センターは来年度で定員が満員になる見込みです。今後、通所先が確保できず、在宅で過ごさざるを得ない子どもが出ないように早急に対応していただけないでしょうか。

回答3 福祉保健部長

現在、東京都全体を見ても、重度身体障害を持つお子さんが増えてきています。そこで、受け入れ枠に問題が起きないように、また、効率的な通所施設の運用を図るために東京都と話し合いをしています。

区では、新規施設増設のための場所の確保が難しいことから、既存施設の有効利用をいかに進めていくかを検討しています。また、福祉センターの業務の見直しを行うとともに効率的な運営を実施し、受け入れ態勢(人員体制を含む)の整備に努め、必ず近い将来、重度身体障害を持つお子さんの受け入れ態勢を整えていきます。

※問合せ先

広報課広聴係
☎(3546)5222



ちょっと知っ得! 区内の文化財

埋樹及び木樋

区民有形文化財 考古資料
明石町12番1号 郷土天文館



埋樹及び木樋

「良質な水の確保は、今も昔も私たちの生活の根幹をなすものです。日本初の近代水道(川の水などの沈殿・濾過を行い、鉄管を通す有圧の安定配水)は、明治二十年(一八八七)に横浜で創設されました。東京の近代水道は、明治三十二年(一八九九)末頃まで当時の東京市(現在の中央区にあたる京橋区・日本橋区を含む十五区)のほぼ全域に通水されました。そして明治三十四年、これまで江戸・東京の人々が利用してきた上水道(旧水道)の市内給水が廃止されました。近代的な水道施設の建設以前に利用されてきた上水とは、どのようなものだったのでしょうか。

江戸時代初期、全国各地で城下町の建設が展開されるとともに、都市化に伴う飲料水の安定確保や農業用水の供給などの必要性から水道の敷設が盛んに行われました。当初は池泉や湧水などから供給していたとされる江戸の地に、最も早く開かれたのは「神田上水」(創始は天正年間・寛永年間など諸説あり)でした。井の頭池を主水源とする神田上水は、水源から武蔵野の湧水(善福寺池・妙正寺池など)を合せながら小石川の関口(現在の文京区関口)まで開渠で導水し、関口の大洗堰で分水した上水は水戸藩上屋敷内(現在の文京区後楽一丁目・春日一丁目)を通過して石樋で神田川に至り、神田川を懸樋(川の上を横断して掛ける樋)で渡した後は暗渠(地中に埋めた樋を使用)で給水されました。給水区域は、下谷・浅草を除く江戸下町の北半分(神田川を北限とし南は京橋川まで、西は大手町から一ツ橋外まで、東は隅田川以西の永代橋まで)に及んでいます。また、江戸最大の上水であった「玉川上水」(承応三年(一六五四)完成)は、多摩郡羽村の堰から多摩川の水を取り入れ、四谷大木戸(現在の新宿区四谷)までの四十二・七キロを開渠で導水し、市街に入ってから暗渠で給水されました。江戸城内をはじめ、主に市街南西部(四谷・麹町・赤坂・芝・京橋・築地・八丁堀など)に及ぶ自然流下式の上水でした。なお、青山・三田・本所・千川の四上水も順次開かれ、給水が行われました(享保七年(一七二二)廃止)。

さて、今回の文化財は、神田上水の配水構造や技術の一端がうかがえる区内で出土した江戸時代の「木樋」と「埋樹」です。出土地点は、「日本橋」北詰にあたる室町一丁目交差点付近(日本橋室町一丁目8番先)の地下約二メートルで、昭和五十年(一九七五)に行われた地下鉄半蔵門線の建設工事中に見られました。木樋とは、給水のために地下に埋設された樋管のことです。出土した上水木樋は、厚さ八センチ前後の板を船釘で管状(断面形態は四角)に固定したもので、発見時には板の継ぎ目に槓肌(ヒノキやマキの皮を砕いて繊維としたもの)を充填して漏水対策がとられていました。また、同時に出土した埋樹は、樋管(木樋)の屈折点や分岐点に埋設された装置で、発見時には埋樹の北・東・南側の各面に木釘でつないだ四枚板とで組み立てた方形の桝(約一・三メートル四方・高さ約一・六メートル)です。江戸時代の樋線図(神田上水の配水経路を示した図)などを基に配水経路を分析すると、上水は埋樹北面の木樋を通過して埋樹に給水(北の駿河町方面からの水)され、東面の木樋への配水(江戸橋方面への水)と南面の木樋への配水(日本橋魚市場方面への水)が行われていたことがわかります。市街地における江戸の上水は、埋設された樋や桝を組み合わせて水道網が形成されていました。江戸っ子が産湯に使った自慢の水道はこうした上水技術によって運ばれてきたわけですね。

中央区主任文化財調査指導員 増山一成